

イノベーション・ラボ・アジアニュース

今急成長中の北欧のスタートアップ20社は？成長率はどのくらい？事業内容は？これらはデータプラットフォームサービスのNordic 9が先月行った調査の質問項目です。今回は**Nordic 9のご厚意**によりそのリストを紹介します。

まずは調査方法から見てみましょう。対象はフィンランド、アイスランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマークで2018-2019年に100万-500万US\$を調達したスタートアップ289社。収益が100万US\$以下またはこの期間の収益を公開していない企業は対象外です。成長率は前年度に対する収益の増加率としています。

成長率ランク上位20社のうち、半数は3桁、残り半数は2桁の伸び率を達成しています。トップ3は、従来よりも低エネルギーでより速く高性能な炭素繊維成分の製造技術を開発したCorebon (スウェーデン、457%)、オンライン販売での商品の紹介手法を考察するDetail Online (スウェーデン、320%)、起こりうるサイバー攻撃を社員に意識させる教育や取組みのためのソフトウェアプラットフォームのHoxhunt (フィンランド、316%)。

その他のファクトとしては年商が1000万US\$以上の会社が2社、300万US\$以上が11社あること。上位20社を国別でみるとトップはスウェーデンの9社、次いでフィンランドの6社。そのうち、Corebon、Bruce、Findity、Digital Workforceの4社は利益を計上しています。

これら上位20社のセクターやソリューションに特に強いパターンは見られません。SaaSベースのソリューション(Detail Online、Hoxhunt、Hostaway、&frankly、Findity、2021.ai、PinMeTo、Memory、Kognity)や、eコマース関連ソリューション(Detail Online、Tise、Bruce、Jenny、Hostaway、PinToMe)が目立つものの、エドテック、グリーンテック、AI、ロボティクスなどもランクインしています。

【急成長の北欧スタートアップ上位20社リスト】

-  **スウェーデン** (9社) Corebon、Bruce、Kognity、Detail Online、&frankly、Findity、Volumental、werlabs、PinMeTo
-  **フィンランド** (6社) Leadfeeder、Digital Workforce、Heltti、HoxHunt、Hostaway、Jenny
-  **ノルウェー** (4社) No Isolation、Nofence、Tise、Memory
-  **デンマーク** (1社) 2021.ai

このような著しい成長はコロナ前の時代の余波にすぎないと懐疑的な見方をする人もいるでしょう。けれどもNordic 9が先週発表した最新の分析によると、2020年8月までの北欧スタートアップエコシステムへの株式投資は総額にしておよそ3350億円を突破。2019年度とほぼ同レベルです(詳しくは**Nordic 9**を参照)。要するにパンデミックが起ころうが北欧スタートアップエコシステムは元氣よく躍進中なのであります。

北欧ニュースダイジェスト

-  **DK** **Seed Capital**、国内テックスタートアップシード期の新規ファンドに約170億円を調達。これまでに**約84億円**のクロージングを達成
-  **FI** スマート点滴療法のモニタリングサービスのスタートアップ**Monidor**、**約1億2600万円**を調達
-  **DK** サイバーセキュリティのスタートアップ**Cobalt.io**、倫理的ハッカーを使ってウェブアプリケーションの脆弱性をテストするプラットフォームに**約30億5000万円**を調達
-  **NO** 農業用ロボットThorvald開発の**Saga Robotics**、Nysnø、ADM Capital、Rabobank他からおよそ**11億7000万円**を調達
-  **NO** 水産養殖ソリューションの**Aquabyte**、ArcTern Venturesによる最新の投資ラウンドで**約10億6000万円**を調達
-  **SE** **CarbonCloud**、最先端の企業向け**カーボンフットプリント計算技術**に約1億2500万円を獲得
-  **IS** **CCP Games**の新商品EVE Echoes、発売後2週間でプレイヤー100万人を達成。**米国での新規株式公開**で約106億円達成
-  **EE** 充電時間わずか15分。電気自動車用スーパーバッテリーを開発した **Skeleton Technologies**、大手自動車メーカーと提携

「NORDIC INNOVATION HOUSE - TOKYO」インタビュー

なぜ日本のイノベーションエコシステムや市場に関心か？ 日本のイノベーションエコシステムは進歩し始めています。投資が着実に増えているばかりではなく、北欧のスタートアップへの投資も伸びています。政府機関や企業はオープンイノベーションを重要課題に挙げ、新たな税制優遇措置を設置するほか、北欧が技術拠点とするグリーンテック、ディープテック、クリーンテック、ヘルステックなどの分野でイノベティブなソリューションにも目を向けています。ノルディックイノベーションハウスが掲げる汎北欧協力体制に対する日本のメディア、官公庁、民間企業の反応も多くが肯定的です。北欧5カ国がどのようにここまでのレベルでコラボレーションを実現化しているのかは、日本のステークホルダーにとっては特異に映るようです。しかしながら日本企業が投資先としてまず北欧諸国を選択肢にあげることはまず稀で、依然としてそれはシリコンバレーやその他の大規模な経済圏です。ですからここで重要なのは、日本が北欧に対して抱いている良いイメージを企業は拠り所にする、そしてそれはアドバンテージだということに北欧企業側が理解することです。



名前: ニクラス・カーヴォネン
役職: コミュニティ・ダイレクター
社名: Nordic Innovation House Tokyo (ノルディックイノベーションハウス東京)
エコシステムの所在地: 日本、東京
連絡先: niklas@nordicinnovationhouse.com

北欧のテック系企業や投資家が日本に進出する際の一番の壁は？ 明らかな言葉の壁や文化の違い、適格な現地パートナーを得る事はもちろん、今時のエコシステムにはもう当てはまらないであろう日本のビジネスカルチャーに対する時代遅れの認識もあるのではないのでしょうか。また逆に、北欧の国々の区別がつかない、国毎の違いがわからない日本人もいると思います。ですから私たちは日本についての正しい情報、北欧についての正しい情報を双方に伝えなくてはなりません。

どのような北欧のステークホルダーや企業、投資家にアプローチしていきたいですか？ ノルディックイノベーションハウス東京が対象としているのは日本市場を見据えたイノベティブなテック系スタートアップ、スケールアップ、そして成長企業です。とりわけテック系及びイノベーション企業をターゲットに置き、互いの知識と経験が共有できるような強固なノルディックビジネスコミュニティーの構築に励んでいます。様々な産業のクラスターと繋がってそれぞれのニーズをよく理解し、企業の日本視察に協力していきたいと思っています。

北欧イベント(オンライン開催のみ)

- 9月15-16日 **The Copenhagen Fintech Week**、北欧テイスのグローバルフィンテック会議
- 9月17-18日 **TechBBQ**、北欧スタートアップと世界中の投資家・ステークホルダーが集結するスキャンジニア最大級のテックサミット

編集者

 **ピーター・ヨハンセン**
プロジェクトマネジャー
pj@asia-house.dk

 **ユリアン・森江・原・ニルセン**
日本担当コンサルタント
jni@techbbq.org



「イノベーション・ラボ・アジア」はデンマーク産業財団の支援の下でAsia HouseとTechBBQが共同で運営するプロジェクトです。詳しい内容については以下からご覧ください。



報告書(日本関連)



全報告書

